

1. 学校評価総括

建学の理念	「心身ともに健康で、使命感を持つ、誠実な人間を育成する」	
教育目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 明朗で知性溢れる人の育成 2. 不屈の精神をもって、使命を全うする人の育成 3. 自己を確立しつつ、社会性豊かな人の育成 4. この世に生をうけた幸福を知る人の育成 	
これまでの成果と課題	<p>新型コロナウイルス感染症の影響で、4月に発表した年間行事計画の多くの行事が影響を受けた。学校としては、感染症のクラスターを発生させないため、教員による校内の消毒を日々行いながら、生徒には黙食の励行、手洗いの徹底、三密を避けることを指導し続けた。また、行事については、密を避けながら行えるものは、中止ではなく、できるだけ延期して行うという方針で、感染症の増減を見極めながら計画を再編、実施した。授業については、4月は動画配信を、5月は学年別に分散登校とリモート授業を組み合わせ、6月15日より、通常授業を再開した。その間、Classi等のチャット機能や電話を用いて、生徒と連絡を取ることを行った。</p> <p>集団訓練や団体活動については、中学1、2年の林間・臨海学校は中止せざるをえなかったが、文化発表会と合唱コンクールはVTRなどを利用しながら実施、陸上競技大会も中学と高校を別にしてスポーツ大会に編成しなして実施することができた。中3の研修旅行、高2の修学旅行は、感染症が下火になった10月に行うことができた。</p> <p>すべて、保護者の方のご理解と協力があってのことであり、改めて感謝申し上げる。夏期休暇を短くして学習進度の調整は行えたものの、4月のリモート授業による内容の定着率は、通常授業ほどには期待できず、来年度も含めて、学習内容の復習は行っていきたい。また、集団訓練の不足から、例年以上に人間関係の構築に手間取る生徒が見られるとともに、社会面においても列車マナーの苦情が多かった。この点も、6年間、同じメンバーで通う学園としては来年度への大きな課題といえる。</p>	
	具体的目標	総合評価
国際人を育てる教育	<ol style="list-style-type: none"> 1. 留学制度の充実 2. 進路指導の充実 3. 学力をつける授業の充実 4. 国際交流制度の充実 5. 卒業生・在校生の満足度向上 6. 施設・設備の充実 	<p>新型コロナウイルス感染症のため4～5月は、動画配信、リモート授業、分散登校となり、学年やクラス単位での集団訓練ができなかった。他者の気持ちに配慮しながら集団で行動し、集団で授業を受けるといったことが、日々の習慣により培われるものであることを痛感した。とはいえ、生徒、保護者の協力のおかげで、タブレットを用いた活動については一気に進むことができた。令和7年度から大学入学共通テストの科目となる「情報」の学習への足掛かりとするため、ICT教育をさらに促進していきたい。</p> <p>学業面では、コロナ禍で、二極化がさらに顕著となった。低学年からハイレベルな内容に触れさせていけるグループがある反面、基礎基本の暗記すら覚束ないグループも存在する。今後、放課後学習だけでなく、ICTを用いた復習学習のしくみの導入を検討していく。</p> <p>次年度は、学校行事を安全に再開すること、生徒の社会性の醸成に取り組むこと、学業面での二極化現象に対応することを課題としていく。また、手段としてICTを活用し、教員の労働時間の削減と研修の充実にも取り組みたい。</p>
入学志願者・入学者の安定確保	<ol style="list-style-type: none"> 1. 六年一貫教育の充実のための内部進学生支援の充実 2. 外部児童・生徒募集の充実 	
教育の意識改革・行動改革の実施	<ol style="list-style-type: none"> 1. 教科会議の充実 2. 教員組織の改革 3. 学校評価の導入 4. 教員評価制度の導入と研修の充実 	